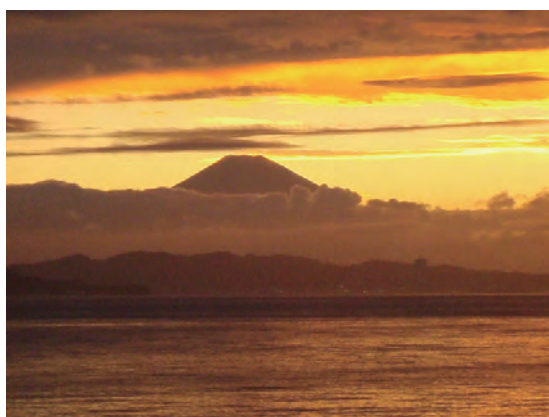




7月23日（土）に、第2回目となる「富津市民花火大会」（後援：富津市議会）が富津海水浴場で開催されました。今年は迫力のある水中花火も披露され、6,000発の花火が25,000人の観客を魅了しました。【撮影 茂木 健一さん（下飯野）】



富津市八幡「新舞子海岸から望む富士山」
写真提供 八幡・大竹芳郎さん

富津絶景 28

富津市内には、素晴らしいスポットがあります。こそり独り占めせず、歓びを分けて下さい。皆様のご応募をお待ちしております。
(上記編集先まで)

9月定例会・委員会報告……	2～3 P
決算審査特別委員会報告……	4～5 P
議決結果……	6 P
代表質問……	7～8 P
個人質問……	9～11 P
議会運営委員会行政視察報告……	11 P
トピックス、定例会日程 ……	12 P

「議会報告会」11月中旬市内3ヶ所で開催します!!

(詳細はチラシや議会ホームページをご覧ください)

9月 定例会

総務産業常任 委員会

◆ 条 例

▼一般職の職員の給与等に関する条例及び非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

平成26年4月から支給しないこととしていた一般職の職員の地域手当及び平成27年4月から支給しないこととしていた非常勤一般職の職員の報酬のうち地域手当相当額を平成28年10月から支給するため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

平成28年9月定例会は、8月29日から9月21日までの24日間で開催されました。議案15件、報告2件について審議を行いましたので、その主なものを報告します。



9月7日に開催された総務産業常任委員会

▼青木地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、関連する条文を整備するため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。

▼財産の取得について

災害対応特殊消防ポンプ自動車を取得することについて、議会の

議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により議会に議決を求めらるもので、全員の賛成で可決しました。



災害対応特殊消防ポンプ自動車（同型車両）

◆ 補正予算

▼一般会計補正予算

高岩山自然動物園管理運営事業費、地域手当の計上及び人事異動に伴う人件費を既定の予算に補正



高岩山自然動物園のニホンザル

しようとするものです。現在は、ニホンザルと特定外来生物であるアカゲザルとの交雑が問題となっているので、市では純粋種の保護・飼育に向け、動物園のニホンザル全頭をDNA鑑定するため、補正予算を計上するものであり、全員の賛成で可決しました。

※高岩山自然動物園の臨時休園について
交雑対策業務委託を実施するため、10月24日から作業終了まで（作業は1週間〜1ヶ月程度を予定）臨時休園となります。また、年末にも再度臨時休園が予定されております。

▼特別会計補正予算

富津市水道事業会計（第1号）

地域手当の計上及びび人事異動に伴う人件費補正をするもので、全員の賛成で可決しました。



富津市亀田にある水道部の庁舎

教育福祉常任
委員会

◆条
例

▼富津市介護保険条例の
一部改正

介護保険法施行令の一部を改正する政令が施行され、介護認定審査会の委員の任期について、2年

を超え3年以下の期間で条例を定めることができるようになったことに伴い、当該委員の任期を3年とするため、条例の一部を改正するもので、全員の賛成で可決しました。



介護認定審査会の様子

◆補正予算

▼一般会計補正予算

地域介護・福祉空間整備事業に係る経費、シルバー人材センター運営事業に係る経費、児童扶養手当給付事業に係る経費など、及び、これらに関連する歳入を計上するとともに、地域手当の計上及びび人事異動に伴う人件費補正をするもので、賛成多数で可決しました。



一般社団法人富津市シルバー人材センター

▼特別会計補正予算

富津市国民健康保険事業特別会計（第1号）

歳入では繰越金などを、歳出では国民健康保険基金積立金、国庫負担金返還金などを増額するとともに、地域手当の計上及びび人事異動に伴う人件費補正をするもので、全員の賛成で可決しました。



9月8日に開催された教育福祉常任委員会

富津市後期高齢者医療特別会計（第1号）

歳入では繰越金などを、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金などを減額するとともに、地域手当の計上及びび人事異動に伴う人件費補正をするもので、全員の賛成で可決しました。

富津市介護保険事業特別会計（第1号）

歳入では繰越金などを、歳出では介護保険給付費準備基金積立金、国庫負担金返還金などを増額するとともに、地域手当の計上及びび人事異動に伴う人件費補正をするほか、債務負担行為の補正をするもので、全員の賛成で可決しました。



9月21日に開催された全員協議会

◆決算審査特別委員会

平成27年度決算審査特別委員会は、9月13日から15日の3日間にわたり議長・議会選出監査委員を除く14名で開催されました。初日は決算に係る現地調査及び主要施策の成果説明について、2日目は一般会計歳入歳出について、3日目は特別会計歳入歳出について質疑が行われました。今後の行財政運営においてどのような改善がなされるべきか、様々な観点から検証することで事業の評価と次年度予算等へどう反映させるかなどの審査を行いましたので、質疑の主なものを報告します。

一般会計歳入歳出決算 「歳入について」

滞納市税の不納欠損手続きについて、県平均以上の徴収率達成のための取り組みについて、普通交付税増額の要因について、財産収入減額の要因について、経営改革の視点から給与所得者を増やすための取り組みについて

「歳出について」

総務関係費

市議会議員選挙費の内訳について

て、債務負担行為の今後の予定について、J-R線複線化促進期成同盟の活動について、財産管理費の委託料の内訳について、庁舎管理費光熱水費の減額要因について、市交通安全推進事業補助金の内訳について

民生費・衛生関係費

社会福祉協議会費、地区社協補助金の内訳について、水質汚濁対策事業の川の水質調査、地下水の水質調査の内容と対策について、し尿処理施設の今後の運営と管理について

労働費・農林水産業費・商工費・土木費・災害復旧費

農作物被害対策事業の現状について、企業誘致対策関係費の今後



東京湾漁業総合対策事業を活用し導入した高速浸漬処理船を視察（富津漁港）



天井等の改修工事が行われた富津中学校武道場を視察

について、進出企業における富津市民の採用状況について、海苔共同利用施設建設事業の内容と今後について、高速バスタップ整備事業の進捗状況と今後について、海水浴場の現状と今後について、**消防費、教育費、公債費及び予備費**

教育センター管理費のうち通信運搬費について、学校でインターネットを使用して行う授業の内容について、そのうちのいじめ防止教育について、青少年問題協議会の成果について、防災行政無線子局の老朽化について、安全安心メールの配信委託料の内容とメールの配信制限について

「総体的質疑」

平成26年度から取り組んできた経営改革を踏まえ27年度決算を迎えるにあたっての総括について

討論

【反対】 職員給与と定員の削減、消防団補助費の削減などにより、市民サービスが削られた結果がこの決算であり、国の交付金頼みの大型事業の推進、地方債や債務負担行為を増やし財政を圧迫してきた。

またマイナンバー制度の導入・運営は税や保険料の徴収強化と社会保障給付を削減するためのものであることから反対する。（松原）
【賛成】 2年前の決算時に約2億円であった財政調整基金残高が平成27年度決算では約9億6千6百万、更に今回の歳入歳出差し引きで生じた余剰金のうち3億8千2百万を基金へ繰り入れることで市の貯金が13億4千8百万となった。また、議会からも事あるごとに意見した「可能な限りの臨時財政対策債の発行抑制」を実施したことにより地方債残高がこの1年間で3億以上削減できたことから賛成である。（平野英男）との討論がなされたが、賛成多数にて認定されました。

国民健康保険事業特別会計 歳入歳出決算

保険税の滞納及び滞納世帯の状況について、18歳未満者へ交付する短期保険証の取り扱いについて、国民健康保険税と生活保護の関係について、特定健康診査の受診率向上に向けての取り組みについて

討 論

【反対】 国保事業標準基金保有額は2億8千万と言われる中、基金残高は7億を超えていることから国保税を下げるべき、よって本国保特別会計決算は反対する。(松原)

【賛成】 高齢化、低所得層の多い中で運営している現状であるが、所得格差に関係無く、健康予防等の保険事業を積極的にすすめており、毎年その努力が認められるため賛成する。(三木)との討論がなされたが、賛成多数にて認定されました。

後期高齢者医療特別会計 歳入歳出決算

短期保険証の発行について、県内市町村での短期保険証の発行状況について

賛成多数にて認定されました。



9月13～15日の3日間開催された決算審査特別委員会

介護保険事業特別会計 歳入歳出決算

地域包括支援センター運営状況と今後について、高齢者の介護や福祉に関する相談受付の現状について

討 論

【反対】 前期と比べ保険料の15・2%引き上げ、要介護1と2の認定者が特別養護老人ホームへの入居が原則対象外となったことから本決算に反対する。(松原)

【賛成】 平成27年度からは地域包括支援センターが市内の日常生活圏域内3箇所とも外部委託として整備され一層地域の果たす役割が増してきている。

水道事業会計決算

豊岡地区拡張に伴う加入世帯数について

全員賛成にて認定されました。

温泉供給事業特別会計決算

今後の事業の方向性について、有形固定資産減価償却の内容について、供給湯量の内訳について、全員賛成にて認定されました。



新設された豊岡第二増圧ポンプ場を視察

▼各会計別決算額

会 計 名	予算現額	歳 入 額	歳 出 額	差 引 額	
一 般 会 計	164億7210万円	162億6432万5千円	153億6373万5千円	9億59万円	
特別会計	国民健康保険事業特別会計	78億4226万円	78億3432万5千円	75億5357万円	2億8075万5千円
	後期高齢者医療特別会計	4億6770万7千円	4億6206万1千円	4億5906万5千円	299万6千円
	介護保険事業特別会計	47億1700万5千円	46億5851万円	45億5620万3千円	1億230万7千円
	計	130億2697万2千円	129億5489万6千円	125億6883万8千円	3億8605万8千円
水 道 事 業 会 計	収益的収支	16億1028万7千円	15億5084万2千円	594万5千円	
	資本的収支	3億4994万1千円	7億5391万6千円	▲4億397万5千円	
温 泉 供 給 事 業 特 別 会 計	収益的収支	121万6千円	158万4千円	▲36万8千円	
	資本的収支	0円	0円	0円	

平成28年9月定例会の 議決結果

※議案15件の議決結果は次のとおりでした。

議案等	議決結果	猪瀬浩	諸岡賛陸	三木千明	高木一彦	千倉淳子	山田重雄	平野英男	渡辺務	松原和江	岩本朗	石井志郎	藤川正美	永井庄一郎	鈴木幹雄	福原敏夫	平野明彦(議長)
一般職の職員の給与等に関する条例及び非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
介護保険条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
青木地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の取得	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成28年度水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度水道事業会計決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
平成27年度温泉供給事業特別会計決算の認定	原案認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

議長は、地方自治法の規定により、採決に加わりません。

議案名中の『富津市』及び、『～について』は省略表示しています。

○ = 原案賛成 ● = 原案反対 欠 = 欠席

学校再配置構想について

保守の会



諸岡 賛陸
議員

問 現在の児童・生徒数と今後の推移については。

教育長 現在の小学校の児童数は1819人、中学校の生徒数は961人、合計2780人。6年後の小学校の児童数は333人減、中学校の生徒数は84人減、合計2363人になると思われる。

問 現在の問題点については。

教育長 3校の小学校で複式学級を開設しており、中学校の部活動では、他の学校と合同チームを組んだり、他の部活動から部員を募るなどして大会に出場している学校もある。

問 公共施設等総合管理計画との関係については。

教育長 平成28年3月に策定された富津市公共施設等総合管理計画では《小中学校は今後の児童数、生徒数の推移を考慮しつつ、「富津市小中学校再配置構想」に基づき統廃合する。》となっており、現在、小中学校の統廃合については、富津市公共施設等総合管理計画の中で再配置計画を検討している。

問 学校再配置構想だが、20年度に掲げられているが、大分、進捗

状況が遅れている。公共施設等総合管理計画が進む中で、中学校の改修計画の費用も予算の編成の中に一部予定されているものがある。学校再配置構想の話が進んでいない中で、どういう連携が取れているのか。

教育部長 現在進められている小中学校の施設整備については、全庁で取り組んでいる富津市公共施設等総合管理計画に基づき進めており、現在策定中の小中学校再配置計画も、そのように進めたいと考えている。

問 予算がついているということの中で、統廃合等の考えが、今後あるのか。

教育部長 統廃合等を加味した中で、内部で検討している。



中学校の部活動の様子

国際観光都市富津市の実現

保守の会



平野 英男
議員

問 豊かな自然と歴史的地域資源のプロモーションは。また訪れたお客様が快適に楽しむために推進していることは。

市長 ホームページやフェイスブックによる情報発信。加えて本年から市が観光協会に依頼し「おもてなし半島ちば」の実現を目指す取組を実施するものとしている。

問 平成31年度目標値、外国人観光客数はどの程度見込んでいるか。

建経部長 5万6千人と推計。

問 外国人が日本に来て困ったこと1位は、無料公衆無線LAN環境がないこと。富津市もWi-Fi環境整備に取組むべきと考えるが。

建経部長 観光・防災拠点の観点から、未整備の市管理の観光施設があるので、検討して参りたい。

問 市内宿泊事業者へもWi-Fi環境整備を周知して欲しいが。

建経部長 さらに周知をし、市内の環境整備につなげていきたい。

問 外国人が困ったこと3番目は、多言語表示がないことだが、言語のバリアフリー化推進の考えは。

建経部長 多言語対応できる観光案内所運営、ボランティア育成、公共交通機関との連携、多言語情

報提供等、先進地の整備を参考に検討したい。

問 多言語観光案内板設置を、新たな財源確保策としての、クラウドファンディングで試みては。

建経部長 有効な手法として認識しているので、実施した自治体を参考に検討したいと考える。

問 近い将来、富津市はどのよう

に観光客で溢れ返り活気づいているか、市長の未来イメージは。

市長 東京オリンピックの観光客が訪れていると期待する。それには市民の皆さん、観光協会、各種団体と協働で、観光PRやスポーツ合宿の充実、イベントの奨励をしなければならぬ。それにより外国人、国内の皆さんが楽しみやすい地域になることを期待したい。



外国人旅行者が利用できる無料公衆無線LANスポットの共通シンボルマーク

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内であれば、同じ会派の人が関連質問をすることができます。
*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
建経部長（建設経済部長）

*会派の代表として行う質問が代表質問になります。
代表質問の時間内であれば、同じ会派の人が
関連質問をすることができます。

現在の富津市の財政状況と 27年度決算について

自由民主賢会



三木 千明
議員

問 財政破綻報道からちょうど2年経過し、富津市は財政破綻していないのが事実であるが、現在の財政状況と27年度決算は。

市長 昨年8月発表の中期収支見込みにおいて財源不足は解消の見込み、今年度作成の中期収支見込みでも平成33年度までの期間を通じて黒字を見込んでいる。27年度決算では、形式収支9億59万、実質収支7億6379万8千円の黒字である。

問 経営改革の要である経営改革会議委員の構成は。

総務部長 公認会計士1名、大学教授2名（うち1名は27年7月に辞任）、会社経営者1名、県庁職員OB1名である。

問 経営改革会議設置を、どう捉えているか。

総務部長 財政、経営に精通された委員のバランス、また外部有識者でありながら市民視点での議論展開により、設置に伴い短期間で収支改善が図れたものと考ええる。

問 公共施設、インフラ資産の更新等費用についてどのように考え、どのように見込んでいるか。

総務部長 公共施設やインフラ資

産の更新には多額の費用が試算されている。公共施設については今後の人口減少を踏まえ適正化を進め、インフラ資産については市民の生活基盤であるため維持管理コストの削減を図りながらも適正な管理と更新を行っていきたい。なお、公共施設の維持管理基金を設けており現在残高が1億5千万円ある。今回公表の中期収支見込みでは平成29年度から毎年1億円ずつ積み立てを行っていきたくと考える。



経営改革会議の様子

スポーツ都市宣言・公共施設の 再配置・地方創生について

自由民主賢会



福原 敏夫
議員

問 スポーツ都市宣言の考えは。

市長 今後の施設の考えは、施設類型ごとの基本的な方針として、公共施設等総合管理計画に記載してあり、市民文科系施設、社会教育系施設は、施設の老朽化や利用状況を踏まえ、必要な機能の見直しを行い、統廃合や多機能化について検討する。

問 地方創生の現況と今後については。

市長 平成26年末に、まち・ひと・しごと創生法が施行され、富津市人口ビジョン2040及び富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定においては、今までの行政主導ではなく、富津市民委員会と富津市創生会議を立ち上げ、ゼロベースから市民と行政が一緒につくり上げていく手法をとった。富津市では初めての取り組み。富津市人口ビジョン2040は、本格的な人口減少局面に入った本市人口の現状と将来の姿を示し、人口問題に関する基本認識を市民と共有し、目指すべき将来の方向を示すため策定した。また、富津市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、富津市人口ビジョン2040を踏

まえ、市民が幸せを感じられるまちを実現するため、市における、まち・ひと・しごと創生に関する目標、基本的な施策の方向及び施策を、総合的かつ計画的に実施するために策定した。さらに、その総合戦略を計画的かつ効果的に実施するため、平成31年度までの実行計画を今月中に策定予定。今後は、市民から広く意見を取り入れる手段を確保しながら、進行管理機関として富津市創生会議において実行計画の検証を行い、必要に応じて見直すことにより、PDCAサイクルを確立する。



社会教育系施設に分類される富津市中央公民館

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧ください。
*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
健康部長（健康福祉部長）

国保税さらなる引き下げ 子どもの貧困の改善



松原 和江
議員

問 今年度、一人約1万円の引き下げがされたが実感が無い。国保基金7億1千万円と保険基金安定繰入金を活用して、さらなる引き下げの決断は。

市長 基金は医療費の急激な伸びや不測の事態の備え。現時点でのさらなる引き下げは考えていない。

問 今年度の近隣4市の調定額と基金保有額は。

健康部長 表1のとおり。

問 国保税は収入のない子どもたちも均等割がかかる。子どもたちの均等割を軽減している自治体はある。来年度から高校生以下の子どもたちに均等割軽減制度を導入しないか。

市長 国の制度改革の中でも検討

【表1】一人当たり国保税と国保基金保有額の比較 (単位:円)

	一人当たり調定額	基金保有額(貯金)
富津市	100,171	715,975,668
木更津市	98,597	2,016,646
君津市	93,212	61,111,618
袖ヶ浦市	89,394	712

されている。千葉県も全国知事会を通じて要望を出している。

問 子どもの貧困の改善のため、子ども医療費助成を18歳まで拡充する考えは。

市長 財政的負担が増大。現時点では実施は困難。

問 県内で高校卒業まで補助している自治体は。

健康部長 3市8町1村。

問 学校給食費の補助は。

教育長 今後も食料費は、保護者に負担をお願いしたい。

問 県内で学校給食費を補助している自治体は。

教育部長 14市6町。

問 就学援助制度の支給基準(生活保護基準の1.2倍)の引き上げは。

教育長 現状では拡充は難しい。

問 富津市の生活保護基準の1.2倍は全国と比較して高いか低い。

教育部長 全国の平均と比べて悪い数値となっている。

問 就学援助を受けていることもたちの数と受給率は。

教育部長 185人。6・39%。

問 富津市の受給率は県や全国と比較してどうか。

教育部長 低い状況となっている。

公共施設の処分の流れについて



猪瀬 浩
議員

問 『富津市公共施設等総合管理計画書』等に沿い、現在検討している処分対象施設等は。

総務部長 平成28年度対象の施設等として、旧関豊小学校を売却予定。旧消防本部、旧富津出張所、旧消防団第2分団第1部詰所を解体予定。平成29年度に旧天羽行政センター、平成30年度に旧市役所第2庁舎、平成31年度に旧社会体育館を解体予定。年度は未定だが、旧環南小学校を売却予定。

問 公共施設の維持管理の負担が重い中、処分を検討していくことは今後避けて通れない道。その第1段として旧関豊小学校の売却が現在進められているが、市民に上手く伝わっておらず、いきなり出てきた話と思っている方もいる。決まった経緯については。

教育部長 平成28年2月16日の議会全員協議会の場において売却検討の説明をし、2月18日から市民のパブリックコメントを募集し、最終的には3月15日の議会全員協議会にて売却の方向で進むことのを承を頂いた。

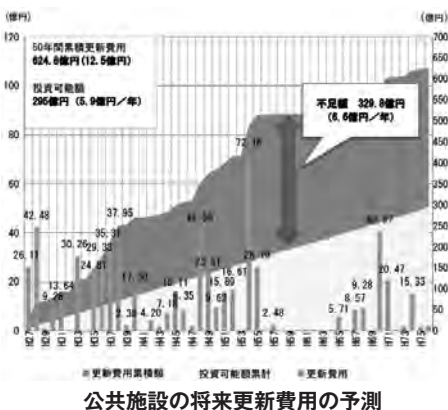
問 一般公募を掛ける前にもう一度議会に売却計画の説明をしないと

なっていたはずだが、説明があったのは一般公募を公開した後だった。こうなったのは何故か。

教育部長 様々な調整をしながら、時間を要してしまい、計画通りに進まなかった。

問 今回の処分は、今後様々な施設等の処分を検討していく第1段。もう少し丁寧にやるべきだった。今後の施設等の処分の流れを、しっかり作って頂きたい。また今回施設等を所管する部署が中心となって担当しているが、本来全庁的な組織を作り、そこが担当すべきだと思いが、どうか。

総務部長 公共施設等庁内検討会議という全庁組織があるので、検討していく。



*紙面の都合上、名称を以下のように省略します。
建経部長（建設経済部長）

富津市の農業・防災・観光の 短所と長所



藤川 正美
議員

問 表題の内容について伺う。

市長 農業の長所は、消費地に近いという首都圏の優位性を生かした水稲・畜産・野菜が基幹作物。課題は、農業従事者の高齢化・担い手の不足・農機具の価格高・農作物の価格低迷・有害鳥獣の被害による営農意欲の衰退など。防災

面の長所は、地域コミュニティが機能し共助の考え方が根づいている。短所については、高齢化の進展で支援をする人の数が減っている。観光の長所は、素晴らしい景観とともに、マザー牧場・鋸山・高岩山自然動物園等の観光施設。

短所は、二次交通の利便性、宿泊・飲食施設の一層の充実。

教育長 南関東最大の前方後円墳・内裏塚古墳や弁天山古墳などの古墳群が、市街地に残っている地域は、全国的に誇れる史跡。

問 富津市産プリンスメロンのブランド化に向けてのプランは。

建経部長 現状は、生産者10名で栽培面積1.8ヘクタール。今後、JAと連携し、ふるさと納税の返礼品として活用を検討したい。

問 最近、吉野地域の田んぼで目にする黄緑色のビニールに包まれ

た円筒形のもの、何か。

建経部長 ホールクroppサイレージ（稲発酵粗飼料）と言い、家畜の飼料として利用するもので、稲の実が完熟する前に刈取り、機械で丸め、そこに乳酸菌を入れて発酵させたもの。

問 富津市農業の展望は。

建経部長 担い手の育成が大事。これから富津市が持続可能な成長を続けていくには、何がポイントとなるか。



9月10日、NPO法人・オール富津情報交流センター（AFICC）が企画した「稲刈り体験ツアー」

市長 それぞれの地域には、力と資源はある。市民参加でつくり上げた富津市総合戦略を実行することで、地域が強くなっていく。そのためにも、市民・行政・議会が一本になって前に進むこと。

山間地域の現状と 観光資源の活用について



高木 一彦
議員

問 ニホンザルの現状及び被害は。

市長 主な行動範囲は天羽地区で、農産物被害額は減少傾向にあるが、市の被害防止計画の目標達成は厳しいと思われる。

問 保護地域におけるニホンザルの現状及び被害状況は。

教育部長 頭数は400頭程度、はぐれザルは4、5頭確認している。また、61世帯の民家と農地があり、電気柵の設置等の対策をし、被害率は減少傾向にあり、効果は出ていると考える。

問 森林資源の現状は。

市長 市の約6割が森林で、人工林、天然林等バラエティに富み、土砂災害の防止等の機能を有しているが、高齢化や担い手不足により整備されない森林が増加し、機能の低下が見受けられる。

問 木材利用の取り組みの現状は。

建経部長 木材利用促進方針を策定し、地域産材の利用促進に利用している。また、森林法改正に基づき市町村森林整備計画を見直ししていく。

問 マリンスポーツの現状は。

市長 富津岬及び5つの海水浴場周辺で水上バイク、ウィンドサー

フィン、カイトボード等に利用されている状況。

問 富津公園及びふれあい公園の施設の現状、利用状況は。

市長 富津公園には、野外劇場、テニスコート、キャンプ場等が、ふれあい公園には、野球場、陸上競技場等があり、これらの施設の利用者は、27年度で、7万7800人となっており前年度から10%以上増加している。

問 オリピック誘致の可能性は。

総務部長 事前キャンプ、大会の誘致等は広域連携の取り組みとして推進してまいりたいと考えている。



森林資源の活用は、有害鳥獣被害の減少につながるのか

*個人質問の時間は、質疑・答弁を含め1時間以内です。紙面の都合で僅かしか掲載できませんので、ぜひ議会傍聴にお越し下さい。
時間の都合のつかない方は、市役所1階の「行政資料コーナー」の会議録を、またはホームページ内で詳細をご覧下さい。

火葬場の移転計画について



千倉 淳子
議員

問 ①本郷区と富津市の協議等、これまでの経緯について②現在の火葬場の状態、現状について③現在計画中の広域火葬場の進捗状況について伺いたい。

市長 ①火葬場を本郷地区に設置する年限は業務開始時から25年以内とする旨の覚書を取り交わしているが、本市としては平成30年2月以降も現在の火葬場の操業を継続したく、平成22年度から本郷区と協議を開始し、平成24年度からは、共同運営を行っている君津市とともに本郷区民に対する説明会を開催し、期限の延長をお願いしてきた。しかし、本郷区からは「覚書の遵守」が区民の総意である旨の文書を数回にわたり提出されている。②火葬場の現状―本郷区

の状況を踏まえ、本市と君津市は、火葬場の整備に関する君津市・富津市合同検討委員会を設置し、今後の火葬場整備の方向性について協議をした結果、少子高齢化に伴う人口減少の進行やそれに伴う財政規模の縮小などを鑑み、継続可能な行政運営のためには、広域整備の検討も必要であるとの方向性に至った。くしくも、木更

津市では、火葬場の広域整備を模索していた最中であつたことから、平成27年4月に木更津市に対し広域整備の申し出を行い、協議の結果、平成28年1月29日付で、(仮称)木更津市火葬場整備運営事業に関する覚書の取り交わしを4市で行つたところである。③広域火葬場計画―新火葬場は、木更津市の現火葬場敷地周辺地への建てかえが予定されており、平成33年度供用開始を目標としている。基本構想や基本計画など広域整備に向けての本格的な作業に着手したところである。今後は、木更津市が主体となつて行っている基本構想(案)の意見公募を10月初旬頃から実施する。



平成5年2月に供用開始の富津聖苑

平成28年度議会運営委員会 視察研修会報告

《参加者》

議会運営委員会

委員長	永井庄一郎
副委員長	猪瀬 浩
委員	福原 敏夫
	松原 和江
	岩本 朗
	渡辺 務
	平野 英男
	平野 明彦
議長	

平成28年7月19日～20日
視察場所

愛知県豊明市議会
愛知県日進市議会

市議会議員改選に伴う正副議長選挙において、これからの時代は立候補制度(所信表明演説)を採り入れるべきであるという意見が出ました。また議長より市民に開かれた議会運営をするための改革を進めるべきであるとの所信表明がなされました。そこで議会運営委員会として、「議会基本条例」「正副議長選の立候補制度」より開かれた議会報告会(カフェトーク形式)を通



豊明市



日進市

年議会」を採り入れている愛知県豊明市・日進市の議会を訪問し、両市議会の取り組みについて意見交換を通して研修いたしました。現在、富津市議会ではこの研修会で得た情報を元に、議会改革推進研究会を立ち上げ、まずは本年度の議会報告会においてカフェトーク形式で行うことといたしました。左記日程にて議会報告会を開催いたしますので、奮ってご参加ください。

11月15日(火) 富津市民会館
11月16日(水) 富津市役所5階
11月18日(金) 富津公民館
いずれも18時より2時間程度
第1部 議会報告会
第2部 意見交換会
テーマ「住みやすいまちづくり」



7月11日、4月に初当選した議員を対象に、岩本副議長の案内により新日鐵住金(株)君津製鐵所を視察し、所内の設備について説明を受けました。



8月1日に岩手県滝沢市議会の総務常任委員会の議員7名が行政視察に来庁し、当市の「持続可能な行政運営に向けた経営改革について」正副議長・執行部が説明をしました。



9月20日に市役所ホールにおいて、平野議長、渡辺教育福祉常任委員長が出席し「秋の交通安全運動」出動式が行われ、富津保育園児2名が1日警察署長を務めました。



9月23日にリオデジャネイロパラリンピックのボッチャ団体競技で銀メダルを獲得した廣瀬隆喜氏（市庁アルムの森に勤務）が議長・市長を表敬訪問しました。



10月1日に友好都市の山梨県甲州市で「第63回甲州市かつぬまぶどうまつり」が開催され、岩本副議長、岡根教育長（市長代理）がお祝いに伺いました。



10月6日に市役所大会議室において、高橋恭市市長の就任式が行われ、各議員が出席し、来賓として平野議長が挨拶を述べました。

【編集後記】
 新市長が誕生し、富津市は新たな旅立ちを迎えました。二元代表制のもと、ともに直接選挙で選ばれた市長と市議会は車の両輪です。
 富津市創生事業が動き出している本市は、羽田国際空港からアクアラインを渡り、一番最初に自然豊かな海岸線が広がる、歴史的資源にも恵まれたまち。未来の種は今にあり、富津市そのものを発信することが、すなわち付加価値の創造です。
 車の両輪である新市長と市議会、そして何よりも、市民の皆様が参画したオール富津の取組で、光り輝く富津市創りを行いましょ。
 （ひでお）

ぜひ、議会傍聴に！
12月定例会日程
 11月29日（火） 10時 開会
 議案の上程
 12月5日（月） 9時30分 一般質問
 6日（火） 9時30分 一般質問
 7日（水） 予備日
 12日（月） 10時 議案質疑
 13日（火） 常任委員会
 14日（水） 常任委員会
 19日（月） 10時 委員長報告
 議案審議
 閉会
 12月の議場コンサートは、6日の午前9時から予定しております。出演は「みなと幼稚園」の園児の皆さんです。
 ※日程は変更になることがありますので、議会事務局（80・1331）へお問い合わせください。